

事業所名		公表年月				
I Le 吉川 パリヴェール		令和8年 3月				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースが確保されております。今後も個別作業など活動内容に応じて部屋分け等を行ってまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		児童福祉法に基づく人員配置基準を遵守し、利用定員に対して必要な人数の職員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		写真や絵など視覚的にわかりやすいものを使用しておりますが、より分かりやすい構造化を目指して参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		空気清浄機やハーデーションを設置し、定期的な換気や消毒を欠かさず行い感染症対策を行っています。また、部屋の使い分け等、個々に合わせた空間づくりを行い、集中して取り組めるよう工夫しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月ミーティングを実施し、PDCAサイクルを意識した話し合いを全職員が参画できるよう努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からのご意見・評価を受けて、業務の改善に向けて話し合いを行っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後必要に応じて、法人として導入を検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月のミーティングでスタッフの資質向上を目的とした社内研修や法人内での研修も行ってまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		子どもや保護者の思いに寄り添った支援を心掛け、プログラムを作成し行っております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者の「将来こうなってほしい」というご意向を、スモールステップの具体的な目標に落とし込んで作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で話し合い、児童に一人一人に合わせ自立に向けた支援計画を検討しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員で情報共有を行い、児童発達支援計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		専門職の検査結果も取り入れた支援内容を話し合い必要な支援を行っております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもたちにとってどのようなことが大切か、子どもの状況、保護者様のニーズを把握したうえで、職員同士で話し合い項目を分けた児童発達支援計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月のミーティングなどで意見を出し合い、調理や運動プログラム等、毎月担当者が中心となり企画の立案を行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子ども達の状況に合わせて、創意工夫をし、提供する資質を向上させていけるように努めてまいります。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		課題やプログラム内容は事前に打ち合わせを行い担当を決めてチームでの支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		夕礼では、当日の利用児童の様子を伝え、全職員で情報を共有できるよう記録表に残しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日誌の記録、個別療育の記録を行い、次の内容に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを行いながら、更新が必要な際は該当児童の支援について見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児童の個性に合わせた支援内容（遊び、制作、地域との交流）を組み合わせ、総合的に支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議には管理者や児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療機関と連携して行う支援体制がございます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校とはメールや送迎時、お電話にて情報共有をしております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		就学前の保育園や幼稚園等の情報は保護者様から伺っておりますが、保育園や幼稚園等との共有も図れるように努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		卒業後から障害福祉サービス事業所等へ移行される場合には支援内容の情報共有を行って参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援事業所や専門機関との連携し、アドバイス等いただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		学校からの下校後に来所するため、他施設との交流時間を確保するのが難しい場合がありますが検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		相談支援専門員と連携し、地域全体の課題解決に向けた事例検討会などに協力しております。	
保	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時のやり取りや面談を通して、お子様の活動内容やご家庭の様子等、保護者と情報の共有をしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		連絡帳や送迎時・お電話などでお話を伺いながら助言等させていただきます。保護者会ではご相談を受ける機会がございました。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際、説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様との面談等で子どもの状況、ニーズを把握したうえで、職員同士で話し合いを行い支援計画書を作成し保護者様と確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画書をお渡しする際は必ず内容を口頭にてご説明させていただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援計画の面談以外にもお悩み等で面談を承っております。	

護 者 へ の 説 明 等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会、夏祭りイベントで保護者様にご参加いただく機会がございました。今後はきょうだい同士、保護者参加型のイベントを増やせる様検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご契約の際説明させていただいておりますが、相談等迅速に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		ブログでは毎月の活動の発信を行っておりますが通信の発行が増やせるように努めて参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に個人情報同意書の記入をお願いしております。保護者様の同意なく他の指定障害福祉サービス等に情報を漏らすことはございません。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方々を招く開かれた運営を行って行けるように企画等検討して参ります。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルによる研修は定期的に行っており、地震や火災等の避難訓練を実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		火災や地震等の避難訓練は子どもたちと一緒にしております。業務継続計画は策定し定期的に確認を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にお子様の病歴や服薬、気をつけてほしいこと等を伺っております。ご利用当日の体調についても確認させていただきます。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーに関しましては契約時に保護者様から伺っておりますが医師の指示書に基づく対応をさせていただきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		お散歩コースの確認や玩具備品等、月ごとの点検を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご契約時に緊急時に連絡が取れる情報をいただいております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例の共有やその後の対応につきましては全員で話し合いを行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		児童虐待研修やチェックシートを使い全員で確認を行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、対象となる児童が在籍しておりませんが、予想される場合には保護者様に説明し了承を得た上で行って参ります。	